

2031年の奈良市のまちアイデアアンケート結果（生成 AI 活用）概要

1. アンケートの実施概要

2031 年に向けた「こんなまちになったらいいな」「私にもできるかも」という市民等のアイデアを収集し、総合計画後期推進方針の策定に反映することを目的とし実施。

- **対象:** 奈良市に在住・在勤・在学・観光客の皆様
- **有効回答数:** 581 件（アイデア総数 652 件）
- **回答層:** 10-20 代 11%/30 代 18%/40 代 23%/50 代 21%/60 代 18%/70 代以上 9%
人口比 10-20 代 0.1%/30 代 0.3%/40 代 0.3%/50 代 0.2%/60 代 0.2%/70 代 0.1%(令和 7 年 12 月 1 日時点)

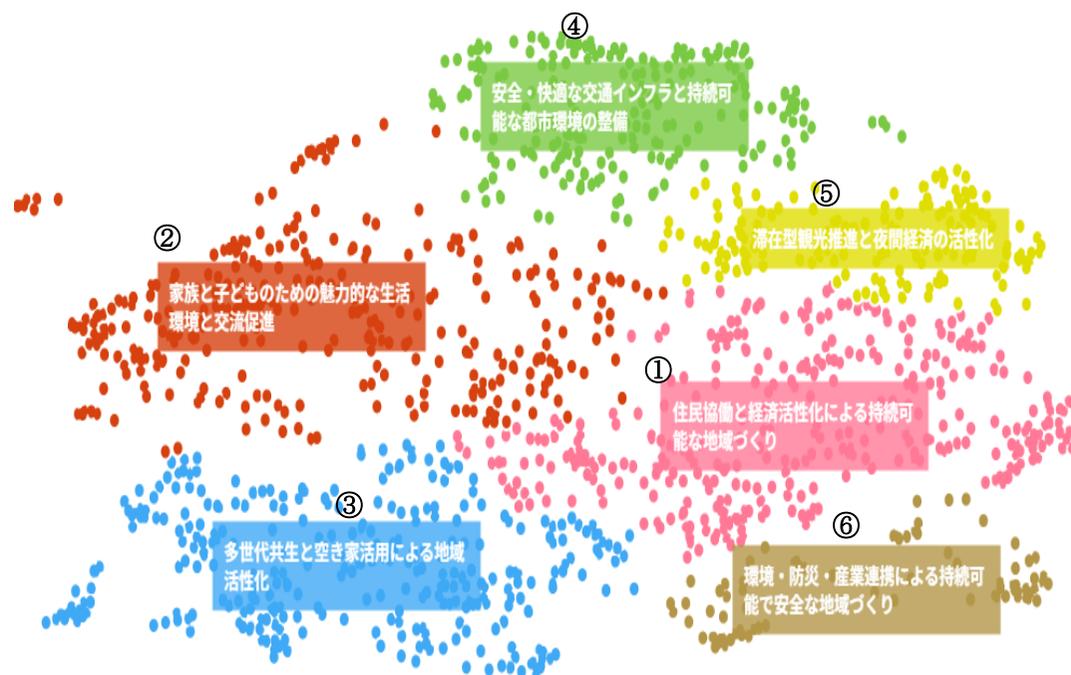
2. 「広聴 AI」によるアイデアの分析と活用

お寄せいただいた 652 件のアイデアを生成 AI で分析し、共通する願いを地図のように「見える化」しました。右記【AI 解析による市民意見の客観的分類マップ】

1 つのアイデアに複数の項目が含まれる場合は、AI で個別の要素に細分化して解析・分類することで、主観に頼らない網羅的な集約を行いました。

【AI 解析による市民意見の客観的分類マップ】

寄せられたアイデアを文脈ごとに細分化した「1,540 の具体的な要素」を、AI が意味の近さに応じて地図状に配置したものです。似た意見がグループ（色分け）を形成しており、この分布をもとに、次ページの「6 つの共通テーマ」として内容を詳しくまとめています。



AI 分析に基づき整理・集約した「6つの共通テーマ」の詳細

マッピング図で分類された各グループについて、AI が膨大な意見の中から共通するキーワードや傾向を抽出し、具体的な「願い」や「課題」として項目ごとに要約・作成したものです。

① 住民協働と経済活性化による持続可能な地域づくり (363 件)

奈良市における地域活性化を目指し、住民参加を促進することで持続可能なまちづくりを推進する取組が求められています。具体的には、地域団体や企業との協力、住民同士の交流を促進するためのインフラ整備、オンライン・オフラインでのコミュニケーションの場の提供、そして市民が主体的にまちづくりに関与できる仕組みの構築が提案されています。また、若手人材の定着を図るための教育機関の充実や起業支援、地元経済の活性化を通じて、奈良市をより住みやすく魅力的な都市にするための具体的な施策が求められています。これにより、地域の多様なニーズに応じた柔軟で包括的なアプローチを通じて、地域社会の豊かさと持続可能性を高めることが期待されています。

② 家族と子どものための魅力的な生活環境と交流促進 (356 件)

奈良市では、家族や子供が楽しめるレクリエーション施設や公園の不足が指摘されており、これを解消するための具体的な提案が求められています。市民と観光客の交流を促進するため、奈良公園や平城宮跡を活用したイベント開催や観光施設の整備が提案されています。また、子供たちが安全に遊べる多様な遊び場の整備や、地域社会全体で子供たちを見守る体制の強化も重要視されています。さらに、大和西大寺駅周辺の都市開発や交通インフラの改善を通じて、住みやすさと利便性の向上を目指す意見も多く、これらの取組は奈良市の地域活性化と市民の生活の質向上に寄与することが期待されています。

③ 多世代共生と空き家活用による地域活性化 (327 件)

地域の多世代共生を促進し、空き家や町家の再生を通じた地域活性化を図るための包括的な支援策が求められています。具体的には、高齢者や子育て世代が安心して暮らせる環境の整備、地域コミュニティの形成、行政によるワンストップ支援の提供、空き家の用途別整理、そして多様な住民層への支援策の充実が重要です。これにより、地域の持続可能な発展や人口流出の防止、住民の生活の質の向上が期待されています。

④ 安全・快適な交通インフラと持続可能な都市環境の整備 (238 件)

地域交通インフラの多様な課題に対する具体的な改善提案が集まり、特に交通手段の多様化や公共交通機関のバリアフリー化、道路の状態改善、歩行者や自転車の安全性向上が求められています。また、奈良市における交通インフラの改善提案では、駅前やバス停の整備、バスの便数増加、観光客対応などが挙げられ、地域住民や観光客の利便性向上を目指しています。さらに、安全で快適な都市環境の整備と自然保護の推進に関する意見も多く、通学路や歩道の整備、喫煙の規制、自然環境の保護が重要視されています。これらの意見は、住民の安全と快適な生活環境の実現、そして持続可能な都市の発展に寄与することを目的としています。

⑤ 滞在型観光推進と夜間経済の活性化 (172 件)

奈良市の観光振興と夜間経済の活性化に向けた具体的な施策が求められています。観光客の利便性を高めるために、交通機関の選択肢を増やし、周遊バスの導入や宿泊施設の拡充が提案されています。また、夜間に楽しめる飲食店やイベントの増加、商店街の活性化が必要とされています。さらに、観光地の案内整備や PR 活動の強化、地域の文化資産を活用した循環型観光の推進も重要視されています。これらの施策により、奈良市を日帰り観光地から夜間も楽しめる滞在都市へと変革することが期待されています。

⑥ 環境・防災・産業連携による持続可能で安全な地域づくり (84 件)

地域社会の持続可能な発展と安全性向上を目指し、行政と住民が協力して取り組むべき具体的な課題が提案されています。次世代エネルギーの導入やメガソーラーの撤去、ゴミ処理施設の環境配慮、地域防災力の強化、農業の持続可能性向上など、多岐にわたる取組が求められています。これらの取り組みを通じて、地域の経済活力の維持や住みやすい環境の構築、住民間の絆の強化が図られ、持続可能な地域社会の実現が期待されています。